

令和6年度 新型コロナワクチン 定期接種への移行について

令和6年2月21日

川崎市健康福祉局 予防接種担当

電 話 044-200-1089

Eメール 40vaccien@city.kawasaki.jp

定期接種の概要

1 国の接種方針について（令和5年11月22日付け厚生労働省事務連絡）

新型コロナウイルス感染症は「まん延予防上緊急の必要がある」と認められる状況にないため、令和3年2月17日に開始した特例臨時接種は令和6年3月31日で終了します。

令和6年度以降は予防接種法のB類疾病に位置付け、定期接種として実施します。

現行：特例臨時接種 (予防接種法第6条第3項)	令和6年度以降：定期接種B類 (予防接種法第5条第1項)
○接種の努力義務：あり ○市町村長による接種勧奨：あり ○費用負担：全額公費負担	○接種の努力義務：なし ○市町村長による接種勧奨：なし ○費用負担：実費負担

2 定期接種化による主な変更内容

令和6年度から重症化予防を目的に、65歳以上の高齢者及び一定の基礎疾患を有する60～64歳の方を対象に、秋から冬にかけて年1回その年のウイルス株に対応するワクチン接種を定期接種として実施します。

(定期接種B類で対象者が同じ高齢者インフルエンザワクチン接種と概ね同様の扱いになります。)

	現行：特例臨時接種 (予防接種法第6条第3項)	令和6年度以降：定期接種B類 (予防接種法第5条第1項)
接種期間	令和5年9月20日から 令和6年3月31日までに1回	<u>秋・冬に1回</u> （期間は未定）
個別通知 (接種券)	対象者へ接種券を発送 →3月15日終了	通知（発送）はしない
接種の支援	市による高齢者施設・障害者 施設への巡回接種を実施 →3月31日終了	<u>市による巡回接種なし</u>
ワクチン供給	市から医療機関、施設へ配送	医療機関、施設で調達
被接種者の 自己負担	無 料	<u>実費負担</u> （額は未定）
相談窓口	川崎市新型コロナウイルス ワクチン予約コールセンター →3月31日終了	川崎市予防接種コールセンター ○接種制度、接種証明書、副反応 などについて

(1) 接種券発送、再発行の終了について

接種の対象となる方に発送している接種券は、令和6年3月31日までに接種を受ける際に使用することができますが、4月1日以降の接種では使用できませんので御注意ください。令和6年度実施の定期接種では市から接種券を発送しません（接種券は不要になります）。

なお、3月31日までに接種を希望する方で、接種券の再発行を希望する場合は3月15日（金）まで受け付けます。

(2) 市による高齢者施設・障害者施設への巡回接種の終了について

新型コロナワクチンの接種医確保が困難な施設からの要請に応じて医療機関を派遣し、ワクチン接種を推進してきました。しかし、特例臨時接種が3月末で終了することとなり、接種機会を設ける緊急性も無くなったことから、市による巡回接種は令和6年3月末をもって終了します。

(3) ワクチン供給の終了について

令和6年度以降は、新型コロナワクチンは他のワクチンと同様に一般流通が行われる見込みであり、市が行うワクチンの配送・供給は令和6年3月で終了します。他のワクチンと同様に医療機関又は施設で調達してください。

(4) 接種費用の自己負担について

ワクチンの定期接種化に伴い、接種費用は実費負担になります。現在、実費負担額のもととなる接種費用を国において検討しています。接種費用が明らかになり次第、実費負担額をお知らせします。

3 接種の実績報告の終了について

接種進捗状況の把握や国調査の報告のため、新たにワクチン接種が開始されるごとに「接種・実績報告書」の提出や接種実績の電話調査に御協力いただきました。定期接種に移行することをもって令和6年3月末で終了とします。御協力ありがとうございました。

※未定の事項やその他詳細につきましては、分かり次第お知らせします。

新型コロナ 無料接種終了



＜新型コロナワクチン接種をご希望の方へ＞

新型コロナワクチンの全額公費による接種は
令和6年3月31日で終了します

3月31日までの新型コロナワクチン接種について

- 令和5年9月20日以降、**生後6か月以上のすべての方**に対して、オミクロン株（XBB.1.5）に対応した1価ワクチンの全額公費による**無料接種**が行われています。（※9月20日以降の追加接種は1人1回です。）
- 新型コロナワクチンの全額公費による無料接種は、**初回接種・追加接種ともに**、令和6年3月31日で**終了**します。
- **接種券の（再）発行申請手続き**は**3月15日**で受付を**終了**します（即日発行はできません）。なお、お手元に**未使用の接種券や予診票**がある方は、**3月31日**までは使用できますが、**4月1日以降**は使用できなくなります。
- 「**新型コロナウイルスワクチン予約コールセンター**」、「**新型コロナワクチン接種予約サイト**」は、**3月31日**で運用を**終了**します。
- 終了日が近づくと、ご希望の日時・医療機関での接種予約が取りづらくなったり、**新型コロナウイルスワクチン予約コールセンター**につながりにくくなったりする場合があります。**接種をご希望の方は、期間内に余裕を持って受けてください。**



Colors, Future!
いるいて、未来。

川崎市

*本チラシは、令和6年2月15日時点の情報を基に作成しています。今後、国の方針等により内容に変更が生じる場合があります。

*全額公費による接種（特例臨時接種）終了に伴い、本チラシに記載の無いその他の申請手続き（住所外接種届申請やコンビニでの接種証明書発行など）等も順次終了となります。詳しくは市HP等でご確認ください。

Q&A

Q. 令和6年4月以降の接種は有料となるのですか？

A. 65歳以上の方および60～64歳で対象となる方（※）には、新型コロナの重症化予防を目的として、秋冬に自治体による定期接種が行われ、費用は原則有料となります（接種を受ける努力義務や自治体からの接種勧奨の規定はありません。）。

令和6年4月1日以降に定期接種以外で接種をご希望の方には、^{*}任意接種として、自費で接種していただくことになります。

（※）60～64歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障害があり、日常生活のほとんど不可能な方

Q. 令和6年3月31日までに初回接種を完了できない場合はどうなりますか？

A. 令和6年3月31日までに初回接種が完了できない場合、残りの接種は自費で受けていただくことになります。初回接種を希望される方は、できるだけ、令和6年3月31日までに必要な接種を完了できるよう余裕を持って受けていただくようお願いします。

* 任意接種に関する詳細は、接種を実施する医療機関に直接お問合せください。

◎ワクチンを受けるにはご本人または保護者の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人または保護者の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きについては、住民票がある市町村にご相談ください。

* 臨時接種および定期接種ではない場合（任意接種の場合）には、予防接種健康被害救済制度ではなく、医薬品副作用被害救済制度の対象となります。申請に必要な手続きなどについては、医薬品医療機器総合機構（PMDA）にご相談ください。

詳しい情報や最新情報について



厚生労働省「新型コロナワクチンについて」



川崎市 [新型コロナ関連] ワクチン接種

新型コロナワクチンの無料接種は 令和6年3月31日で終了します



接種を希望する方は、お早めの接種予約をご検討ください。
終了日直前は、予約が取りづらくなる可能性があります。

＜接種予約・お問合せ＞ 新型コロナウイルスワクチン予約コールセンター
0120-654-478

（8時30分から18時まで・土日祝日も対応 / ^{*}3月31日まで）

* 4月1日以降は「川崎市予防接種コールセンター」（電話：044-200-0144）で定期接種に関するお問合せを受付します。